

令和2年度社会福祉法人陽和福社会事業報告

I 法人本部

(1) 会議の開催

理事会

令和2年度は2回の理事会を開催した。そのうち1回は書面による理事会とした。

| 日時 | 議題等 |
|------------------|---|
| 5月20日 (書面による) | *令和元年度事業報告及び決算に関する件 *運転資金借入に関する件 |
| 3月8日 | *給与及び退職金規程の一部改正に関する件 *令和2年度補正予算に関する件 *令和3年度事業計画及び予算に関する件 *評議員会の開催に関する件 |

評議員会

令和2年度は2回の評議員会を開催した。そのうち1回は書面による評議員会とした。

| | |
|------------------|--|
| 6月12日 (書面による) | *令和元年度事業報告及び決算に関する件 |
| 3月22日 | *令和2年度補正予算に関する件 *令和2年度事業計画及び予算に関する件 |

その他

- ・運営推進会議

各奇数月に開催

5月は新型コロナウイルス感染予防のため中止。

1月は書面で報告等を行う。

- ・苦情解決第三者委員会議

7月20日

(2) 外部研修への参加

| 月 | 研修名 | 参加人数 |
|----|------------------|------|
| 5月 | 褥瘡と栄養管理 | 1 |
| 5月 | 長期療養高齢者の排便ケア | 1 |
| 6月 | 消化態栄養と乳清ペプチド | 1 |
| 6月 | 高齢者の嚥下障害 | 1 |
| 6月 | 経管栄養の合併症とその対策 | 1 |
| 7月 | 職場における男女共同参画について | 1 |
| 8月 | 適切な排便について | 1 |

| | | |
|-------|---------------------------|-----|
| 1 1 月 | 認知症サポーターステップアップ研修 | 2 |
| 3 月 | 利用者との信頼関係を築く苦情・クレーム対応について | 1 |
| 3 月 | 心不全で地域を見る（春日井市民病院地域連携室） | 2 5 |

(3) 内部研修の実施

| 月 | 研 修 名 | 講 師 | 参加人数 |
|-------|-------------------|---------|------|
| 7 月 | 身体拘束・体位変換 | 安全委員会 | 8 |
| 8 月 | スピーチロック・移乗 | 安全委員会 | 9 |
| 9 月 | 事故防止 | 安全委員会 | 9 |
| 9 月 | 食中毒予防 | サラヤ株式会社 | 5 1 |
| 1 0 月 | 褥瘡予防の基礎知識 | 感染委員会 | 9 |
| 1 1 月 | ノロウイルス発生時感染対策実践研修 | 感染委員会 | 1 0 |

(4) 委員会の開催状況（毎月 1 回開催）

| 委員会 | 委員会開催日 | 主な役割 |
|----------|---------|----------------------|
| 安全委員会 | 第 4 火曜日 | 入居者の安全に関すること、研修 |
| 感染委員会 | 第 3 木曜日 | 感染予防、対策、研修の実施 |
| 教育・防災委員会 | 第 2 金曜日 | 各種研修、勉強会の管理、避難訓練等の実施 |
| 食事・栄養委員会 | 第 4 木曜日 | 日頃の食事に関すること。行事食の管理。 |
| 行事委員会 | 第 4 水曜日 | 各種行事の開催。 |
| 衛生委員会 | 第 3 金曜日 | 職員の健康管理、職場環境の整備 |
| 園芸委員会 | 第 2 木曜日 | 入居者・利用者も加わり畑、花壇の整備 |

(5) 季刊誌「どんぐり広場」の発行

季刊誌「どんぐり広場」を四季に合わせ、年 4 回発行し、高森台・石尾台等の地域への回覧、入居者やご家族等に供覧している。ホームページにも掲載し過去のどんぐり広場も見るができる。

(6) 「高蔵寺ニュータウン・ハナモモ桃源郷の会」への協力

高蔵寺ニュータウンの高森台県有地を活用しハナモモの咲く桃源郷づくりに協賛し、どんぐりの森及びどんぐりの家の敷地を提供している。平成 2 9 年 2 月から植樹が始まり本年度はどんぐりの家の法面に植樹され 3 年間で当敷地は終了した。今では徐々に花木が大きくなり 4 月の暖かい日にはきれいなハナモモの花が見られるようになってきた。

(7) 全体行事

* 夏まつり

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

* もちつき大会

どんぐりの森では 1 2 月 2 4 日、どんぐりの家では 1 2 月 2 5 日にそれぞれもちつき大

会を開催。例年は高森台地区社協の皆さんの協力やご家族の参加もあるのですが今年度は入居者・利用者・職員で行いました。

* ボランティアによる活動

- ・蕎麦打ち：昼食に手打ち蕎麦をどんぐりの森の入居者、どんぐりの家の入居者にそれぞれ年6回提供した。
- ・移動売店：どんぐりの森において毎月1回、お菓子、日用品等の販売した。
- ・元入居者のご家族様が玄関ホールにて毎月生け花を飾っていただいている。
- ・その他の活動は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止としました。

II どんぐりの森

(1) 地域密着型特別養護老人ホーム どんぐりの森 入居者数の推移（定員29名）

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 入居者数 | 29 | 26 | 29 | 29 | 27 | 28 |
| 平均要介護度 | 4.5 | 4.5 | 4.3 | 4.4 | 4.5 | 4.6 |
| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 入居者数 | 29 | 26 | 27 | 29 | 29 | 27 |
| 平均要介護度 | 4.3 | 4.5 | 4.5 | 4.4 | 4.4 | 4.5 |

ユニット数 3（さくら、あじさい、ひまわり）

職員数 常勤職員 21名 非常勤職員 8名（令和3年3月31日現在）

年間を通して平均要介護度が4.4から4.6と入居者の重度化が進んできた中でもユニット型特養の強みを発揮し、高い稼働率を維持することが出来た。入居者一人ひとりの生活パターンに合わせたケアを実施している。各ユニットに置いて小行事を実施しており、状態に応じて日常生活をよりよく過ごしていただくようサービスを提供している。また、新型コロナウイルス感染防止に細心の注意をはらい、1年を通して面会制限をしておりオンライン面会など新しい取り組みも始めている。

(2) 認知症高齢者グループホーム どんぐりの森 入居者数の推移（定員18名）

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 入居者数 | 18 | 18 | 18 | 18 | 15 | 16 |
| 平均要介護度 | 1.7 | 2.2 | 1.8 | 1.8 | 1.9 | 2.3 |
| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 入居者数 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 15 |
| 平均要介護度 | 1.9 | 1.8 | 1.8 | 1.9 | 1.9 | 1.9 |

ユニット数 2（こすもす、さざんか）

職員数 常勤職員 11名 非常勤職員 10名（令和3年3月31日現在）

新型コロナウイルス感染対策のため日用品の買い物など、機会を見つけての外出が全く行えなかった。ボランティアによる、仏画教室、演奏会、上映会、園芸活動等も無くなり、入居者の皆さんに通年で巣ごもり生活を強いる1年となってしまった。また、面会制限も1年を通して行っている。最近では窓越しの面会や「Skype」を利用したオンライン面会も徐々に始めている。8、3月には体調不良や骨折による退居者が相次ぎ一時的に空床が発生してしまった。

(3) 小規模多機能型居宅介護事業所 どんぐりの森

登録利用者数の推移 (定員25名)

| | | | | | | |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 登録人数 | 19 | 19 | 20 | 20 | 21 | 20 |
| 平均要介護度 (要介護) | 1.9 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 1.9 | 1.9 |
| 要支援人数 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 登録人数 | 20 | 19 | 19 | 21 | 22 | 20 |
| 平均要介護度 (要介護) | 1.7 | 1.5 | 1.7 | 1.8 | 1.8 | 1.9 |
| 要支援人数 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |

職員数 常勤職員 6名 非常勤職員 9名 (令和3年3月31日現在)

訪問サービス、通所サービス、宿泊サービスを組み合わせ、各利用者に適切なサービスを提供、令和元年度は要支援の方が1～3名だったが令和2年度は常時3～4名となり増えてきた。逆に要介護の方の利用者数が伸び悩んでおり十分な収益を上げることが出来なかった。宿泊利用が必要な方のニーズを掘り起こし収益の改善に努めたい。地域の高齢者の皆さんができるだけ自宅で過ごせるよう、また、その後の施設への入居もスムーズに行くよう今後も支援していく。

(4) 喫茶どんぐり

毎月第1、第3金曜日の午後に「オレンジプラスカフェ (認知症カフェ)」を喫茶どんぐりで開いていたが令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため外部からの利用は全くできなかった。

隣地の障害者支援施設「はるひ荘」の入所者により、毎週日曜日の午前10時から午後1時まで喫茶どんぐりでコーヒーショップを営業している。こちらも緊急事態宣言が発令されているときは休業している。

(5) 多目的ホールの利用

今年は新型コロナウイルス感染防止対策のため地域の皆さんに利用して頂けませんでした。

(6) 園芸活動（入居者・利用者・家族・職員の有志による）

春日井市から花壇コンクール用の花の苗をもらうなどして出入口横に花壇を設けている。また、どんぐりの森の中庭にもボランティアの協力を得て花壇を整備し通路が設けられた。秋には市の「花のまちづくりコンクール」で優秀賞を受賞しました。最近では車椅子の方が座ったまま作業が出来るよう高さのある花壇も作られている。

Ⅲ どんぐりの家

(1) サービス付き高齢者向け住宅 どんぐりの家

利用者数の推移（定員 33 名）

| | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 入居者数 | 33 | 32 | 32 | 33 | 33 | 33 |
| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 入居者数 | 33 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 |

職員数 常勤職員 1 名 非常勤職員 5 名（令和 3 年 3 月 31 日現在）

コロナ禍により、イベントの中止、外出自粛、面会制限など入居者・施設を取り巻く環境が大きく変わりました。行動の変容はサ高住に限ったことではありませんが、活動の低下は気力・体力の低下となり、介護度の上昇とサービス増加の一因となっている。

一方で入院・退去は例年より少なく、入退居面での動きも少ない 1 年でした。また開設より 3 年が経過しグループホーム、特養への移動を検討すべき方が出てきているのでご家族、ケアマネージャーと相談を進めている。

(2) 訪問看護ステーション どんぐりの森

利用者数の推移（登録人数）

| | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 介護保険 | 24 | 22 | 26 | 28 | 27 | 28 |
| 医療保険 | 9 | 9 | 10 | 9 | 9 | 8 |
| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 介護保険 | 28 | 29 | 27 | 23 | 23 | 25 |
| 医療保険 | 6 | 7 | 8 | 9 | 7 | 8 |

職員数 常勤職員 2 名 非常勤職員 3 名（令和 3 年 3 月 31 日現在）

開設当初からの利用者の終了や、訪問回数が多い利用者の終了等により訪問件数が減少した時期もあったが、直近では地域包括からの新規の紹介もあり、増加傾向に転じている。今期は看取りが 5 件あり、訪問件数増、加算による売上増に寄与している反面、集中的な訪問数増による新規受け入れのための人員不足や、終了後のサービス数減少とのギャップに苦慮しました。

(3) デイサービスどんぐりの家

利用者数の推移（1日の利用定員 15名）

| | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 登録者数 | 29 | 30 | 32 | 31 | 32 | 34 |
| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 登録者数 | 36 | 38 | 36 | 36 | 34 | 35 |

職員数 常勤職員 5名 非常勤職員 4名（令和3年3月31日現在）

今期末には登録会員数35名、稼働率80%、利用者の3分の2がサ高住以外の利用者となりました。新型コロナウイルスの感染症対策に留意し、利用者一人ひとりに寄り添ったサービスを地道に提供してきた結果だと思う。

(4) ヘルパーステーションどんぐりの家

利用者数の推移

| | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 登録者数 | 21 | 21 | 22 | 22 | 22 | 22 |
| 月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 登録者数 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 24 |

職員数 常勤職員 5名 非常勤職員 2名（令和3年3月31日現在）

期初から期末に掛け、利用者が2名増えただけでなく、平均介護度が1.34→1.91と上昇、サービスのすその広がっている。開設当初は介護度の高い方数名がサービスの中心あったが、ここにきて介護度の高い方が退居し、広く浅いサービスの提供になっている。

(5) 地域交流ホールの利用

地域住民の介護予防のためのふれあい運動教室は新型コロナウイルス感染症のため、ほぼ活動が出来ない状態でした。その他のボランティアも全て中止。今後はワクチン接種や市中の感染状況等に注視しながら利用再開のタイミングを図りたいと思う。

(6) 雑木林、畑の整備

畑の収穫物はサ高住入居者の味噌汁の具材や漬物等に活用。果樹も小さいながらも立派な実りがありミカンは昨年のクリスマス食事会で皆様に提供している。草刈りや花壇の整備もボランティアさんや有志の職員により行われている。